

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
同事務取扱場所 (郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 ジャスダック市場

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848
URL <http://www.ferrotec.co.jp>



VOC
FREE



フェローテックは環境方針に基づき環境保全活動を積極的に推進しています。

第31期 第2四半期決算報告

BUSINESS REPORT

平成22年4月1日～平成22年9月30日
証券コード：6890



FerroTec
株式会社 フェローテック

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第31期第2四半期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国の経済成長により緩やかな回復基調となっておりますが、欧州における財政状況悪化の懸念を発端に先進国各国での通貨安が続いており、一方的な円高の要因となっております。

このような事業環境のなか、当社の装置関連事業におきましては、各製品の受注が回復し、好調に推移したため設備稼働率が上昇し、一部の製品では製造が追いつかない状況となりました。太陽電池関連事業におきましても、新型シリコン結晶製造装置と角切ソー装置の発表後は順調に受注を得ており、シリコン結晶製造装置の出荷につきましても、ほぼ計画通りに推移しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は237億6,500万円(前年同期比77.0%増)となり、営業利益は22億4,300万円(前年同期は営業損失5億4,300万円)、経常利益は18億9,300万円(前年同期は経常損失5億400万円)となりました。四半期純利益につきましては、13億4,400万円(前年同期は四半期純損失4億3,700万円)となりました。



代表取締役社長 山村 章

トップメッセージ — 社長との一問一答 —

積極投資により太陽電池のトータルソリューション・カンパニーへ

Q.1 | この第2四半期までの連結業績について、どう考えますか？

売上高、利益とも期初計画を上回って推移しており、折り返し点ではありますが、過去最高の成績と考えています。とくに、この6カ月は半導体市場が急回復したこともあり真空シールや石英製品が順調

で、シリコン結晶製造装置もフル稼働で生産しています。また太陽電池用ウェーハを販売しはじめたことも、下期以降業績に寄与すると思います。

Q.2 | 主力となる太陽電池関連事業の展開は今後どうなりますか？

太陽電池は、低炭素社会の構築という地球規模の目標に対応する事業であり、今後も需要は増え続けます。当社も拡大する市場に応えるため、この機会を逃さず積極的に資源を投入していく予定です。

これまでシリコン結晶製造装置については単結晶引上装置を中心に展開してきましたが、これからは多結晶製造装置の販売にも注力していきますし、太陽電池用ウェーハの量産も本格化します。

また、多結晶用角槽でもコバレントマテリアル社とこの9月に合弁企業を設立しました。

これらの取り組みをベースとして、シリコンインゴット、ウェーハ、セル、モジュールに至るまで、太陽電池製造工程のすべてをグループで構築することにより太陽電池のトータルソリューションを安定的に提供できる企業を目指していきたいと考えています。

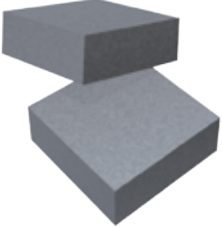
Q.3 | 将来の売り上げ目標についてお聞かせください。

ここ数年、当社の連結売上高は300～400億円の間で推移しています。今後の10年で連結売上高を700～1,000億円規模までに伸ばし一千億円企業となるのが、夢ではなく現実的になってきたと思っ

ています。

急速に需要が拡大する太陽電池関連事業に集中投資を行くことにより、一段の成長を遂げる決意です。どうぞ、当社事業の今後の発展にご期待ください。

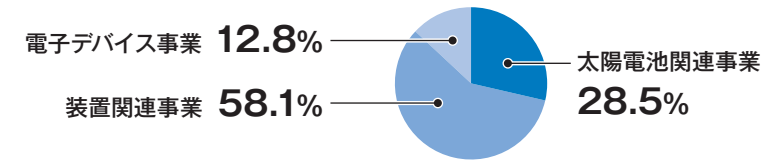
拡大する太陽電池市場に対応するため、太陽電池 関連事業に積極的に経営資源を投入いたします。

製造工程	インゴット生成		角切り／スライス		検査
部 材	<p>単結晶インゴット</p> 	<p>多結晶インゴット</p> 			<p>シリコンウェーハ 新製品</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単結晶 125mm型 / 156mm型 ●多結晶 156mm型 
製造装置	<p>シリコン単結晶引上装置 新型</p> <p>●新型150Kgチャージ</p> 	<p>シリコン多結晶製造装置 新型</p> <p>●新型800Kgチャージ</p> 	<p>角切ソー装置 新製品</p> 		<p>ウェーハ検査装置 新製品</p> 
消耗品	<p>石英坩堝</p> 	<p>石英角槽 新製品</p> 	<p>当社は、世界各国における太陽電池需要の拡大に伴い、装置関連製品（単結晶引上装置・多結晶製造装置・角切ソー装置・ウェーハ検査装置）、消耗品（単結晶用石英坩堝・多結晶用石英角槽）、部材（太陽電池用シリコンインゴット／シリコンウェーハ）を安定的に供給できる生産体制を確立いたします。</p>		

セグメント別概況

これまで「装置関連事業」「太陽電池関連事業」「電子デバイス事業」「CMS事業」の4セグメントとしておりましたが、当連結会計年度から製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」及び「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとし、従来「CMS事業」として区分していたシリコンウェーハ加工を「装置関連事業」に分類しております。

売上高比率



合計
237億6,500万円
(その他含む)

● 装置関連事業

真空シール、石英製品、セラミックス製品等の生産、並びにシリコンウェーハ加工を行っております。

当事業の売上高は前年実績を更新しました。真空シールは台湾、韓国の半導体市場の急回復を背景に設備投資が伸長、欧米メーカーからのLED製造装置用の需要も根強く堅調に推移しました。また、石英製品やセラミックスなど製造プロセスに使う消耗品の需要も強く、売上を伸ばしました。



真空シール

売上高 138億600万円 営業利益 13億7,000万円

※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。

● 太陽電池関連事業

シリコン結晶製造装置、石英坩堝、シリコン製品の生産等をしております。

当事業の売上高は市場の回復に伴い前年実績を上回りました。シリコン結晶製造装置の売上は計画のとおりとなりました。また、受注も堅調に推移しております。石英坩堝は段階的に設備投資をし増産体制を進めてきた結果、前年対比で売上は倍増し、成長製品となっています。



単結晶引上装置

売上高 67億9,100万円 営業利益 3億5,700万円

※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。

● 電子デバイス事業

サーモモジュール、磁性流体の生産等をしております。

当事業の売上高は、主力の自動車温調シート向けサーモモジュールが中国市場での自動車販売台数増により伸長しました。空気清浄機やエアコン用などの民生市場や医療用検査装置、バイオ、光通信向けなどの高機能製品も堅調でした。



サーモモジュール

売上高 30億5,000万円 営業利益 4億1,100万円

※売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおります。

News 太陽電池関連の製品ラインナップを拡充いたします。

本年9月、当社及び中国子会社、杭州先進石英材料有限公司とコバレントマテリアル株式会社の3社は、太陽電池用多結晶シリコン溶融坩堝の製造・販売を行う合弁会社「杭州晶鑫科技有限公司」を設立いたしました。

さらなる拡大が見込める中国太陽電池市場にシリコン結晶製造工程に必要な多結晶用の角槽を供給していきます。製品の技術開発をコバレントマテリアル株式会社が、量産製造は合弁会社が行います。販売については中国市場を合弁会社が担当いたします。

財務データ(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第31期第2四半期 平成22年9月30日現在	第30期 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	29,654	25,622
固定資産	23,631	22,341
有形固定資産	17,784	16,943
無形固定資産	2,766	2,928
投資その他の資産	3,080	2,469
資産合計	53,286	47,963
負債の部		
流動負債	24,270	19,239
固定負債	6,320	6,142
負債合計	30,590	25,382
純資産の部		
株主資本	24,023	22,976
評価・換算差額等	△1,776	△846
少数株主持分	448	451
純資産合計	22,695	22,581
負債純資産合計	53,286	47,963

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第31期第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	第30期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	23,765	13,423
売上原価	16,254	10,100
売上総利益	7,511	3,323
販売費及び一般管理費	5,267	3,866
営業利益又は営業損失(△)	2,243	△543
営業外収益	173	375
営業外費用	524	337
経常利益又は経常損失(△)	1,893	△504
特別利益	104	69
特別損失	81	57
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,916	△492
法人税等	568	△34
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,347	△458
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△20
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,344	△437

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第31期第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	第30期第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	527	1,720
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,124	△445
財務活動による キャッシュ・フロー	1,457	2,165
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△286	152
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	573	3,593
現金及び現金同等物の 期首残高	5,867	5,410
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,440	9,003

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

ポイント

資産

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末と比べ53億22百万円増加し532億86百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加によるものです。

負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末と比べ52億8百万円増加し305億90百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものです。

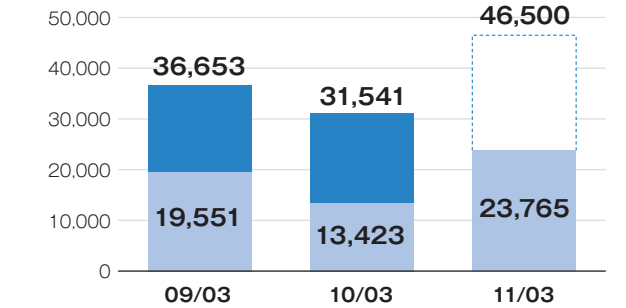
純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末と比べ1億14百万円増加し226億95百万円となりました。これは主に支払配当2億97百万円、為替換算調整勘定8億円による減少の一方で、四半期純利益13億44百万円の計上によるものです。

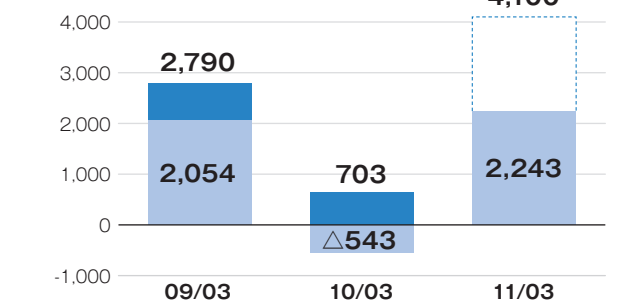
主要損益指標の推移

■ 第2四半期累計 ■ 当期 □ 通期予想 (単位:百万円)

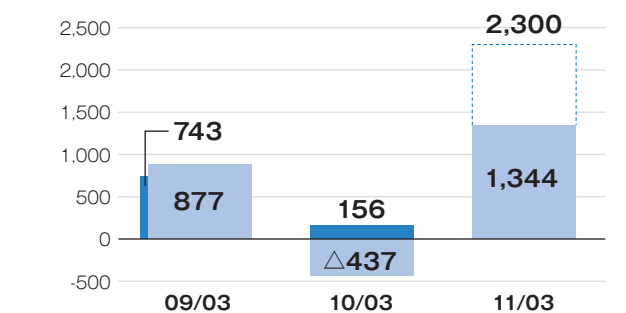
連結売上高



連結営業利益又は営業損失(△)



連結四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)



会社概要 (平成22年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社フェローテック
(英文表記)	Ferrotec Corporation
設立	昭和55年9月27日
資本金	91億3,432万9,687円
株式公開	JASDAQ 平成8年10月18日 (証券コード:6890)
決算期	3月31日
従業員数	203名

役員

取締役	
代表取締役社長	山村 章
取締役	賀 賢漢
取締役	小松 輝寿
取締役	山村 丈
社外取締役	中塚 勝人
社外取締役	吉田 浩二
社外取締役	島田 忠男
監査役	
常勤社外監査役	宮田 賢一
社外監査役	井上 朗
社外監査役	片山 茂雄

事業所

本 社	〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
関西営業所	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34 第10マイダビル1階
会津事業所	〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53
釜石事業所	〒026-0302 岩手県釜石市片岸町3-35
千葉テクニカルセンター	〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

グローバルネットワーク

国 内	株式会社フェローテックシリコン(東京)
	株式会社フェローテックセラミックス(東京)
	アリオンテック株式会社(山形)
	杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)
	杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市)
	上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)
	上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)
	上海漢虹国際貿易有限公司(中国上海市)
	香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港)
	台湾飛羅得股份有限公司(台湾)
海 外	Ferrotec Korea Co., Ltd. (韓国)
	Ferrotec Corporation Singapore Pte.Ltd.
	Ferrotec (USA) Corporation(アメリカ)
	Ferrotec Material Solutions, Inc. (アメリカ)
	Ferrotec GmbH(ドイツ)
	Ferrotec Ltd.(イギリス)
	Ferrotec S.A.(スペイン)
	Ferrotec S.R.L.(イタリア)
	Ferrotec SARL(フランス)
	SCTB NORD(ロシア)

株式情報 (平成22年9月30日現在)

株式の状況

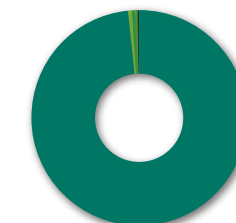
発行可能株式総数	67,000,000株
発行済株式総数	24,897,022株
株主数	13,255名

大株主

	株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,227,300	13.01
2	株式会社小松製作所	1,820,000	7.34
3	日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,036,500	4.18
4	THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,024,300	4.13
5	株式会社クボタ	948,900	3.83
6	山村 章	806,500	3.25
7	野村信託銀行株式会社(投信口)	785,300	3.17
8	株式会社三菱東京 UFJ 銀行	420,000	1.69
9	住友信託銀行株式会社	400,000	1.61
10	NORTHERN TRUST CO, AVFC RE FIDELITY FUNDS	266,600	1.07

※ 自己株式93,344株を除いた比率で表示しています。

所有者別株式分布状況



株主数 **13,254名**

個人その他	13,041名 (98.39%)
外国法人等	87名 (0.66%)
その他法人	61名 (0.46%)
証券会社	43名 (0.32%)
金融機関	22名 (0.17%)



株式数 **24,803,678株**

個人その他	8,555,324株 (34.49%)
外国法人等	5,139,128株 (20.72%)
その他法人	3,167,472株 (12.77%)
証券会社	621,354株 (2.51%)
金融機関	7,320,400株 (29.51%)

※ 自己株式93,344株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。